



想隆社 アカデミックリソースシリーズ

歴史的「演説・講演」

多数収録

二〇一五年五月 配信開始

近代日本語の研究、歴史研究の第一次資料に

貴重音源コレクション

【岡田コレクションⅠ】

大隈重信「憲政ニ於ケル輿論ノ勢力」

澁澤榮一「道德經濟合一説」

東郷平八郎「軍人敎語」

犬養毅「強力内閣の必要」

賀川豊彦「戀愛と自由」など

＊明治、昭和期の貴重な音源集

〈岡田コレクション〉をデジタルで復刻。

＊言語学の専門家による精密なテキスト化。

＊音聲を聞きながら、内容をリアルタイムで

確認できるまったく新しいウェアサービス。



DVD、POD 冊子もございます



DVD



POD※冊子

別売

岡田コレクションとは

岡田コレクションとは、日本屈指のSPレコードコレクター岡田則夫氏のコレクションです。分野は落語、歌舞伎、音曲、三味線、流行歌、能狂言、演劇、民謡など多岐に渡り、作品数は6万点（SP盤3万5千枚）以上におよびます。本貴重音源コレクションにはその中から、言語学・学術資料として貴重なものを選ばれました。近衛文麿、犬養毅、東郷平八郎などの歴史上の人物から無名の少年兵の語りまで当時の肉声を収録。さらにその音声を国立国語研究所の言語学の専門家がテキスト化しています。1ヶ月の無料トライアルがご用意です。まずはこの機会に是非一度お試しください。

※Print On Demand

「貴重音源コレクション」収録コンテンツ

A0001『演説／講演集 政治家編 大正期～昭和初期Ⅰ』

司法大臣尾崎行雄君演説（尾崎行雄，大正4年）／普選投票に就て（尾崎行雄，昭和3年）／正しき選挙の道（尾崎行雄，昭和5年）／憲政ニ於ケル輿論ノ勢力（大隈重信，大正5年）／非立憲の解散・当路者の曲解（島田三郎，大正9年）／普通選挙論（永井柳太郎，大正12年）／第二維新の理想（永井柳太郎，大正末）／正シキ政党ノ進路（永井柳太郎，昭和8～10年）／独善内閣勝つか国民大衆勝つか（永井柳太郎，昭和12年）／強く正しく明るき日本の建設（永井柳太郎，昭和7年）／通信従業員諸君に告ぐ（永井柳太郎，昭和14～15年）／私の綽名「避雷針」の由来（木村清四郎，昭和5年）／犬養内閣の使命（鳩山一郎，昭和6年）／日本外交は何処へ行く（森恪，昭和6年）

A0002『演説／講演集 政治家編 大正期～昭和初期Ⅱ』

護国の礎（田中義一，大正13年）／国民ニ告グ（田中義一，昭和3年）／政治の倫理化（後藤新平，大正15年）／人間一生の信念（阪谷芳郎，大正末）／雲井龍雄ノ詩（送釈俊師）（杉浦重剛，大正末）／政党ノ政策ヲ確ムル必要（武藤山治，大正末）／大行天皇の御幼時を偲び奉りて（間部詮信，昭和2年）／経済難局の打開について（浜口雄幸，昭和4年）／対支政策（芳澤謙吉，昭和6年）／危ない哉！国民経済（井上準之助，昭和7年）／地方政戦に直面して（井上準之助，昭和7年）／強力内閣の必要（犬養毅，昭和6年）／新内閣の責務（犬養毅，昭和7年）／総選挙に臨み国民に懇ふ（若槻礼次郎，昭和7年）／地方政戦に直面して（若槻礼次郎，昭和7～8年）／憲政の一新（斎藤実，昭和10～11年）／日本の天職（内田良平，昭和7年）

A0003『演説／講演集 政治家編 大正期～昭和初期Ⅲ』

青年よ起て（松岡洋右，昭和9年）／日本精神に目覚めよ（松岡洋右，昭和8～9年）／FAREWELL MESSAGE 寿府決別の際のメッセージ（松岡洋右，昭和10年代）／伸び行く朝鮮（宇垣一成，昭和9年）／総選挙に際して（岡田啓介，昭和11年）／愛国の熱誠に懇ふ（岡田啓介，昭和13～14年）／御挨拶に代へて（木下成太郎，昭和7年）／理由ナキ解散（小泉又次郎，昭和12年）／総選挙ニ際シテ（桜内幸雄，昭和12年）／金輸出再禁止に就て（高橋是清，昭和7年）／対英国民大会（山本悌二郎，昭和12年）／総選挙ニ直面シテ（頼母木桂吉，昭和11年）／国民諸君ニ告グ（林銑十郎，昭和12年）／モラロジー及び最高道德の特質（広池千九郎，昭和1ケタ代）／総選挙ニ際シテ国民ニ懇フ（町田忠治，昭和12年）／政界の浄化（町田忠治，昭和13～14年）／挙国一致ノカラ以ッテ難局ヲ打開スベシ（松田源治，昭和11年頃）

A0004『演説／講演集 政治家編 昭和期』

政府の所信（米内光政，昭和15年）／選挙粛正と政党の責任（安達謙蔵，昭和10年）／地方政戦に直面して（安達謙蔵，昭和4～6年）／地方政戦に直面して（山道襄一，昭和6年）／選挙粛正と政府の取締り（安部磯雄，昭和10年）／国家の為に我々の為に（田澤義鋪，昭和10年）／選挙の真精神（田澤義鋪，昭和11年）／新体制準備委員会委員の言葉（麻生久，昭和15年）／国民精神総動員の強調の記念録音レコード（有馬良橘，昭和12年）／新東亜の建設と国民の覚悟（近衛文麿，昭和13年）／時局に処する国民の覚悟（近衛文麿，昭和12年）／日独伊三国条約締結に際して（近衛文麿，昭和16年）／総選挙粛正に就て（永田秀次郎，昭和10年代）／総選挙と東方会（中野正剛，昭和17年）／米英撃滅を重点とせよ（中野正剛，昭和17年）／国民的政治力を集結せよ（中野正剛，昭和17年）／立候補御挨拶並ニ政見発表（増田義一，昭和11年）／皇軍感謝決議趣旨弁明（秋田清，昭和17年）／昭和十八年武装の春（岸本綾夫，昭和18年）／重光総裁（重光葵，昭和27～28年）

A0005『演説／講演集 軍人編 昭和期』

飛行機の大進歩（長岡外史，大正13年）／太平洋横断に際し全国民に懇ふ（長岡外史，昭和6年）／東郷元帥（古田中博，昭和11年）／日本海海戦に於ける東郷大将の信仰（小笠原長生，昭和6年）／乃木將軍の肉声と其想出（小笠原長生，昭和6年）／弥マコトの道に還れ（秦真次，昭和8年）／凱旋後の所感（多門二郎，昭和8年）／連合艦隊解散式訓示（東郷平八郎，昭和9年）／軍人勅諭奉戴五十周年記念（東郷平八郎，昭和9年）／日本海海戦 第一報告と信号（東郷平八郎，昭和10年）／軍人勅諭（東郷平八郎，昭和10年）／三笠艦保存記念式祝辞（東郷平八郎，昭和10年）／皇軍感謝決議に対する東條陸軍大臣謝辞（東條英機，昭和17年）／東條陸軍大臣閣下御訓示（東條英機，昭和15～16年）／大詔を拝し奉りて（東條英機，昭和16年）／戦陣訓（東條英機，昭和16～17年）／日本の軍人は何故強いのか（加藤寛治，昭和11年）／護国の神『特別攻撃隊』（平出英夫，昭和17年）／提督の最期（平出英夫，昭和19年）

A0006『演説／講演集 実業家・教育者編 大正期～昭和期』

第七十五回誕辰祝賀会（渋沢栄一，大正11年）／御大礼ニ際シテ迎フル休戦記念日ニ就テ（渋沢栄一，昭和3年）／道德経済合一説（渋沢栄一，大正12年）／神守不動貯金銀行（牧野元次郎，大正14年）／貯金の三徳（牧野元次郎，大正14年）／ニコニコの徳（牧野元次郎，大正14年）／良心運動の第一声（牧野元次郎，昭和10年代）／石油事業について（津下紋太郎，昭和1ケタ代）／創業五十周年に際して（成瀬達，昭和14年頃）／我等の信条（成瀬達，昭和11年）／二十億円達成に際して（成瀬達，昭和11年）／ホシチェーン会議に於ける星先生の講話（星一，昭和10年代）／人生のゴール（矢野恒太，昭和10年代）／我等の覚悟（弘世助太郎，昭和1ケタ代）／徴用者代表宣誓・社長林桂挨拶・万歳三唱（林桂，昭和15～16年）

A0007『講演／講話／朗読集 明治期～昭和初期の『言葉』I 言語教育』

法律の進化（穂積陳重，大正末）／新皇室中心主義（高田早苗，昭和4年）／標準朗読児童綴方レコード・その七（カナリヤ、ひびとしもやけ）（（不明），昭和4年）／標準朗読児童綴方レコード・その八（私の勇氣、お父さん）（（不明），昭和4年）／新訂小学国語読本巻七（五作じいさん）（（不明），昭和12年）／新訂小学国語読本巻七（錦の御旗、縁日、鉄工場）（（不明），昭和12年）／国語読本の正しい読方（尋常六年）孔子（（不明），昭和6年）／国語読本の正しい読方（尋常六年）遠足・ウエリントンと少年（（不明），昭和6年）／やまとばたらき（日本体操）（寛克彦，昭和1ケタ代）／皇太子殿下ご誕生を祝し奉る（下田歌子，昭和9年）／喜寿記念碑除幕式に際して所感を述ぶ（下田歌子，昭和6年）／鈴木珪寿先生講話（鈴木珪寿，昭和1ケタ代）／国民学校国語科国語よみかた三、六・牛わか丸、七・ささ舟（（不明），昭和18年）／国民学校国語科国語よみかた三、八・蛙、九・軍かん（（不明），昭和18年）／国民学校国語科国語よみかた三、十八・お祭、十九・きりぎりす（（不明），昭和18年）／国民学校国語科国語よみかた三、二十・海、二十一・子馬（（不明），昭和18年）／国民学校国語科初等科国語三、十・機械、十八・とびこみ台、他（（不明），昭和18年）／国民学校国語科初等科国語三、十二・千早城（（不明），昭和18年）／国民学校国語科初等科国語ヨミカタ二、オイシャサマほか（（不明），昭和18年）／国民学校国語科初等科国語ヨミカタ二、冬・お正月・兵隊ゴッコ（（不明），昭和18年）

A0008『講演／講話／朗読集 明治期～昭和初期の『言葉』II 自作朗読』

犬の叔母さん（巖谷小波，大正末，不明）／文芸と人生（菊池寛，昭和8年）／ベニスの商人（坪内逍遙，昭和9年，キング）／おさよ（島崎藤村）（照井栄三，昭和10年）／ふと目はさめぬ（島崎藤村）（照井栄三，昭和10年）／短歌朗読石川啄木集（照井栄三，昭和12年）／帰還部隊（草野心平）（照井栄三，昭和17年）／自作短歌朗読（北原白秋，昭和14年）／麦と兵隊（火野葦平作）（火野葦平，昭和14年）

A0009『講演／講話／朗読集 明治期～昭和初期の『言葉』III 実況・ジャーナル』

訪欧大飛行航空講演（高原操，大正14年）／御大礼伊勢外宮御親謁実写 宇治橋御渡／御模様（JOCK 謹写，昭和3年）／御大礼伊勢外宮御親謁実写 行在所還御／御模様（JOCK 謹写，昭和3年）／蒙古の唄（川島芳子・平井美奈子，昭和8年）／御大礼行幸実写（JOBK アナウンサー，昭和3年）／湯瀬の松風（杉村楚人冠，昭和1ケタ代）／武道の徳（野間清治，昭和1ケタ代）／私の抱負（野間清治，昭和1ケタ代）／済生会の使命に就いて（徳川家達，昭和10年）／母の勝利（和田信賢，昭和10年代）／居庸関の激戦（竹脇昌作，昭和12年）／空軍の華梅林 中尉（竹脇昌作，昭和12年）／一億起てり（竹脇昌作，昭和17年）／労働組合の目的（竹脇昌作，昭和20年代）／組合の方針や動かし方を本当に決める一般組合員の力（竹脇昌作，昭和20年代）／皇太子殿下御外遊御盛徳謹話（加藤直士，大正10年）／ペルリ来航の意図（徳富猪一郎，昭和18年）／あの旗を射たせてください（丸山定夫，戦中）／きこえる（丸山定夫，戦中）／「火の用心」の講演（松井茂，昭和9～10年）／或る少年航空兵（東京市情報課，昭和10年代）／塵芥と戦争（東京市情報課，戦中）／みんな朗らかで親切に（東京市報道課，戦中）／れいれいれいのれいれいれい（東京市報道課，戦中）

A0010『講演／講話集 明治期～昭和初期の『言葉』IV 法話・説教』

戦いなき世界への道（大谷光演，大正12年）／神言（出口王仁三郎，大正中期）／国家的禁酒注意（青木庄蔵，大正末）／世界を神に（山室軍平，大正末）／仏教講演俗仏（佐々木清麿，昭和8年，救世）／普通選挙国民覚醒（佐藤範雄，昭和10年代）／真宗の安心（服部三智麿，昭和10年代）／教育勅語の神髄（田中智学，昭和1ケタ代）／恋愛と自由（賀川豊彦，大正11年）